

PERSON②

医療法人柏愛会

桑田伸枝



「ICT機器を駆使する 次世代のリーダーシップ」

～ICTが生み出す

やさしい介護と働き方改革～

令和5年度
福岡市介護事務効率化支援事業

桑田氏が語る介護事業の現状とICT導入



「画像データで よりの確な情報把握」

訪問介護職がタブレットを携帯し、サービス内容に関する実施記録や必要に応じて画像として残すべき内容がある場合は、撮影し、画像データとして活用しています。



「情報共有がやさしい介護の第一歩」

各種訪問サービスを提供の際にその場で利用者の声やサービスに関する記録を残せるよう訪問時持ち運び可能なノートパソコンとタブレットを導入し、法人内のサービス事業所で情報共有できるよう、訪問先からもサービス内容や経過記録を閲覧可能な状況となるようICT化を進めることとしました。



「タブレット端末で迅速な対応」

管理者及びサービス提供責任者等がモニタリングやサービス担当者会議へ参加する際は、タブレットまたはノートパソコンを携帯。介護ソフトと連動しているため内容の記録や実施記録をその場で確認するなどしながら活用しています。

「世代特有の苦手意識を 徹底的にサポート」

導入当初はスタッフがタブレット操作等に慣れるまでかなり時間を要するのではないか、と心配はしていましたが、使い慣れていない世代へサポートを行ったこともあり、操作に慣れるまでに時間はかかりませんでした。セキュリティ関係もしっかりしていたため、不安はありませんでした。



「従来の紙ベースからの脱却」

サービス実施記録等に関しては、タブレット導入前は紙媒体（複写）での保管であったため帳票類の紛失や保管場所の問題はありましたが、全てデータ化しクラウドにて保管することで、そのような問題は解決しています。



「全てはより良いサービスのために」

紙ベースの業務に比べて無駄な時間が省け、その時間を他の業務に費やせることが出来る所はすごく大きいです。またタブレットを使用すると利用者様の健康状態を他の職員もリアルタイム確認が出来るので、これからの介護事業者には導入が必須だと思います。



今後の介護事業と魅力

お役立ち情報

●令和5年度「介護事務効率化支援事業」サマリーセミナー
一般社団法人クオリティ・ライフ 理事 的場宏一郎

①セミナー

①【ICTの具体的な活用方法

～ICT導入により介護事業上の様々な課題がどのように解決するか～



②【ICTシステム・機器類の導入の根本的な目的とビジョン

～強い事業所作り＝組織能力の高さ～

②セミナー



③【令和5年度「介護事務効率化支援事業」現場の声】

～コンソーシアム事業所 職員インタビュー動画～

③インタビュー



●<福岡市Facebook>福祉人材の部屋

<https://www.facebook.com/fukushijinzaifukuoka1>



●【事務局】合同会社SPEC経営研究所 <https://spec-labo.jp/>

本事業の第1弾、第2弾、第3弾開催の様子はコチラから→



～本事業でご協力頂いた事業所様～

●一般社団法人クオリティ・ライフ

https://hp.kaipoke.biz/726/166329/base_0004.html

●医療法人柏愛会

<https://www.h-ortho.jp/>

発行元：福岡市高齢社会部高齢社会政策課

運営：合同会社SPEC経営研究所